

2010 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会	学科
担当科目	現代社会学特論Ⅱ		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

秋学期のチューターを振り返って、チューター業務は初めて行うことが多く、戸惑うことも多くありましたが、藤本先生、河口先生に丁寧に教えて頂き半年間、チューター業務を行うことができましたと思います。

仕事内容としては、出席カードや感想を書く用紙、コンピューターの鍵などの授業に必要な物品の準備とパソコンやスクリーンなどの授業準備、授業中に用紙を配る作業、授業後に提出された出席カードを集め、出席を e-class にアップする作業を行いました。授業を受けることに集中してしまい、気がつかないところも多く、チューターとしての業務が十分にできていなかったように思い、反省しています。

授業の感想として、私は現在、京都に住んでいますが、伏見や酒造業についてほとんど知らなかったのが、伏見の歴史や酒造業について知ることができ、教養が深まりました。また、フィールドワークの調査の仕方や論文の書き方を学ぶことができ、これから4回で卒論を書くにあたり、大変勉強になりました。ゲストスピーカーの方の臨場感のある話を聞くことができ、事前にテキストで学んでいた内容をより鮮明に理解することができました。最後に、毎回学生のコメントカードを読ませていただき、授業回数を重ねるごとに授業を受けている学生の興味や理解が深まっていくのを感じ、チューターとしてやりがいを感じることができました。半年間本当にありがとうございました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

半年間ありがとうございました。感想や出席カードを読んでいて、ほとんどの学生が授業に関するについて書いていたのですが、中には「お酒がのみたくなりました」という一言など、授業を最初から聞いていたのか判断がつかないコメントカードもいくつかありました。授業についての内容についての感想を書いてもらえるよう、先生から授業の中で仰っていただけると、出席をつける際に、授業を最初から聞いていた学生かどうかの判断がしやすいと思います。よろしく願い致します。